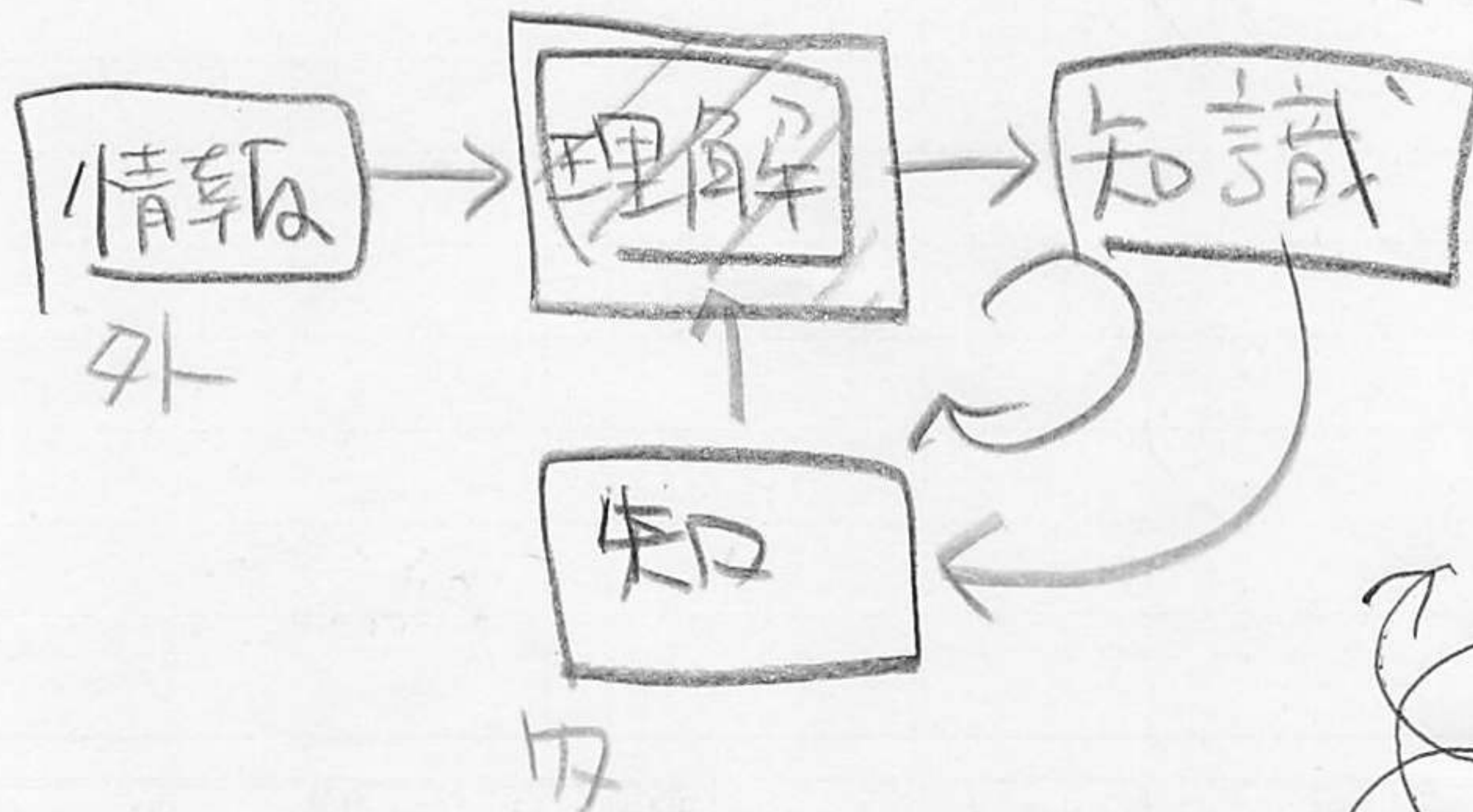


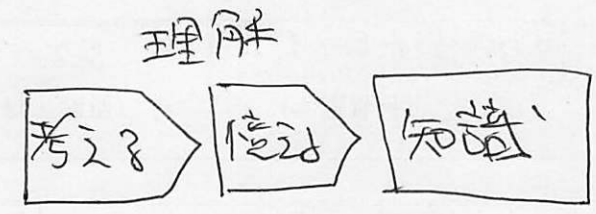
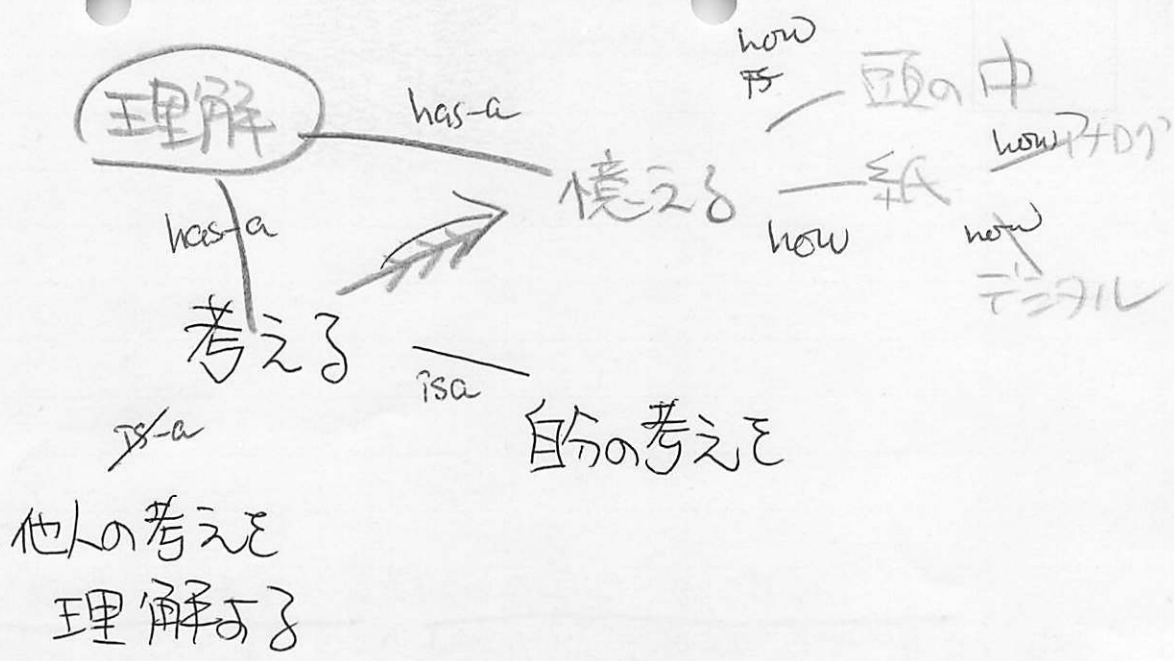
2018.2.10

「理解する」という事、処理
反復 三つ山

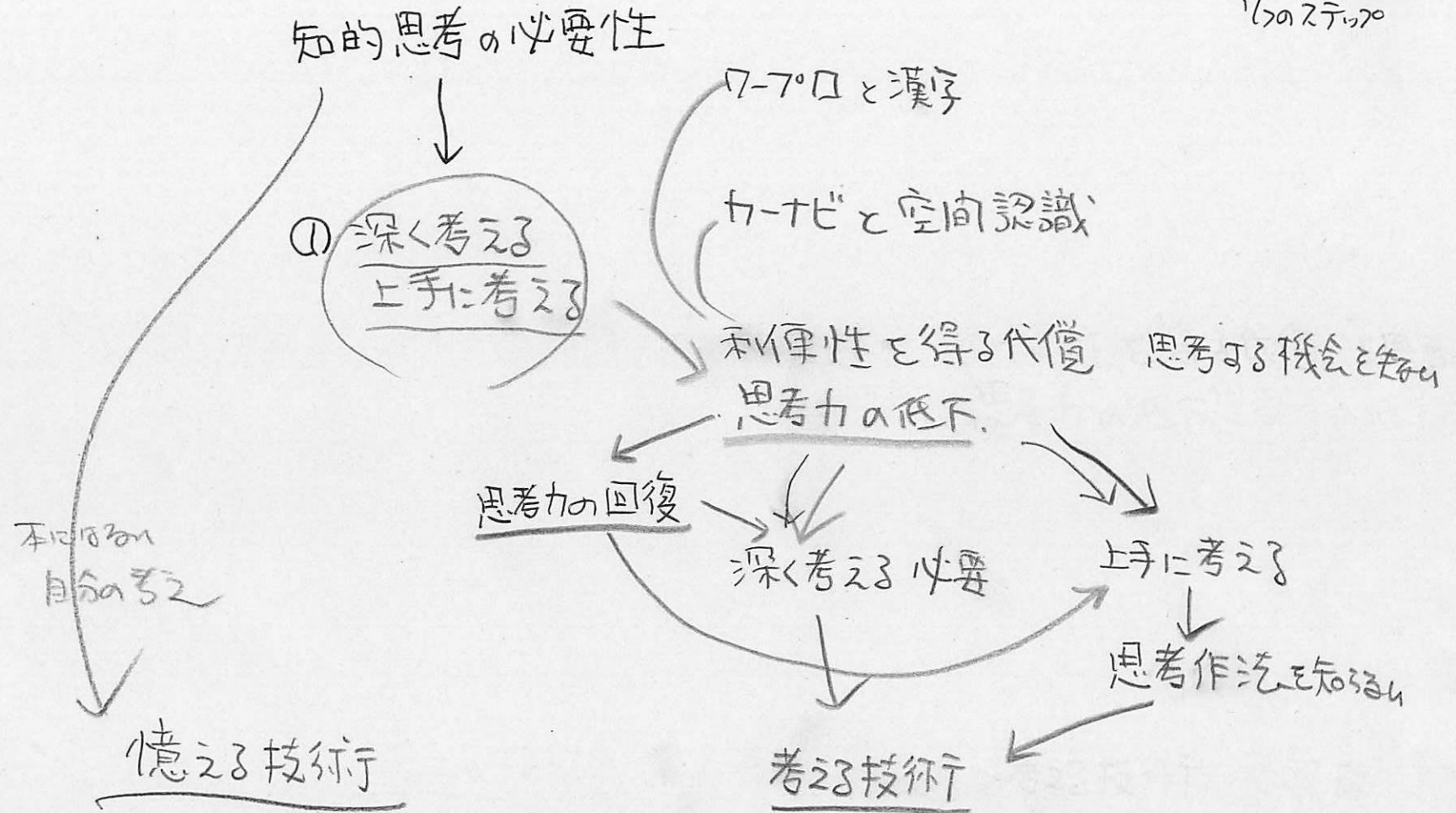


↑
反復と上昇
12

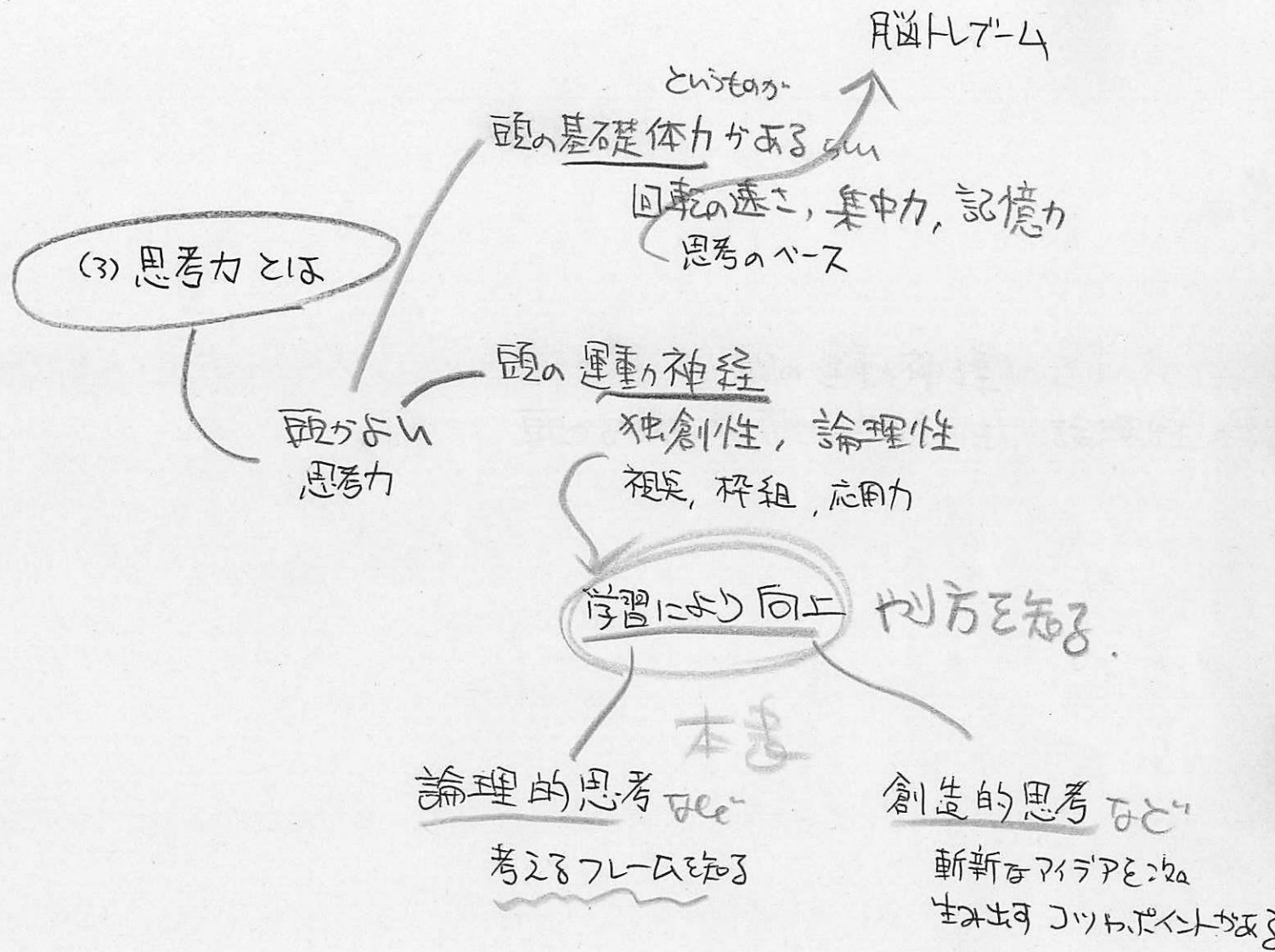
2018.2.10



序 思考700に入るには
17のステップ



思考プロセスは178
7つのステップ



上手に考えるための
考え方を学ぶ

勝負師の思考法

××認知

自分を客観的に見る

外的な側面 (つら、動作) へはく

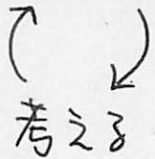
内的 " (考え、感じ)

自分の認知活動と

自分で認知すること

思考プロセスにおける7つのステップ

考えることと考える



ある考え方

目的探索
主題

観察

羅列
要約
整理

発想

分類

構造化

抽象化
outlining

意志決定

表現

文書化

第1章 目的探索の思考

目的を明確にするには

1. 何のためにやる

のか、本来転換

妥当目的を考へよう

2. 必要性

日常や環境の変化に対、
自分の行いを見直す必要性、
その諸元が目的、
目的を見直す

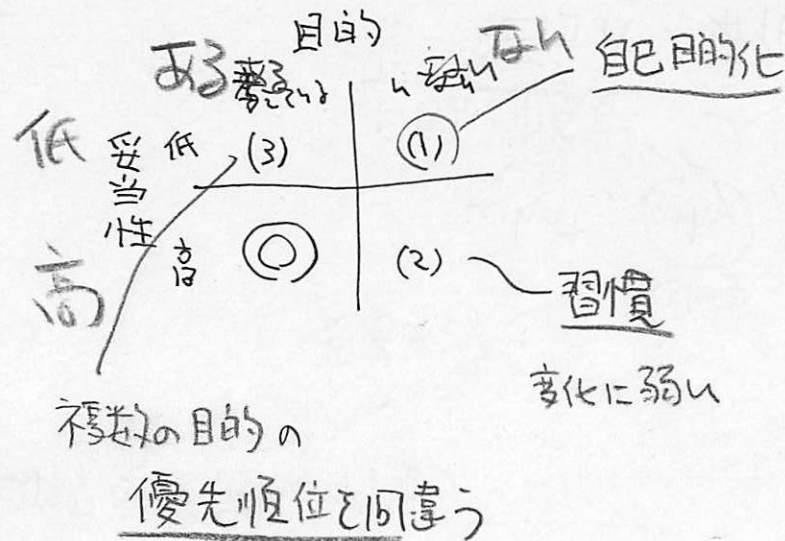
妥当か？

妥当性の変化ある

3 目的探索の思考
の考へ方

目的探索

何かを始めるとき、
成し遂げようとする事柄
について考えること



先入観 固定観念等

多面的収集
(情報)

真の姿を正確に

観察の思考

自己
収集

Top-down

bottom-up

多様な視点

異なる立場

本来の目的

目的探索のため

正確な観察を
ジャマするもの

自己

自分の偏りのバイアス

期待バイアス

過去の経験バイアス

原因分析

他者

受け取りに足る検証

ラッパに惑わされたり、

他者が
収集したもの

情報の裏側を読む

critical reading thinking

意図を読みとる

構造、
論理を洗う

隠された前提条件と探る 推論

自分の期待、偏りとは別の結論を想定

部分的

他の可能性

4分割マトリクス

ツール

水平,
縦列

発散思考
と
収束思考

まとめる
構造を把握

3. 発想の思考

発想のスキルを習得しよう

発想とは

数多くの思いつきを得ること
(アイデア)

同時にやるな?

発想 → 分類 → 構造化 → 凝定

アイデアを得るための下地作り
見えていない領域がある

認識
文化
感情

多々ある
でいること
に意味

いかにやるか?

技法

自由連想法

強制 "

類比

類似性と差異

自由

ブレインストーミング

量, 自由,
批判する
結果改善

わり方

属性列挙

チェックリスト列挙

欠点列挙

希望 "

対象
類
近
具体
抽象

2 分類とは
属性の同じ
ものを集める

観察対象
思考対象も
目的探索
"目的に従って"

違う部分で分け
同じ部分でくくること

⇒ 思考

わかること ⇔ 分けること
突合時 ⇔ 比べ、異と同.

分類の思考

人はいくらでも
「違い」と「同じ」を見つけおとする

1 分類の必要性

わからなかったことが
わかるようになるから

単純化,
整理, 保存, 検索可
の効率

3. 分類の方法

分類の原則

学術体系準拠性 — 抽象水準
の統一

相互排他

包括性

段階性

モヤモヤ
ダラダラなく

4. わからないときは分ける

部分どうしの関係と
(グループ)
明らかにし、
全体の意味と理解

why

とは

what

構造化の思考

意志決定の思考

図解で思考する

表現の思考

what

思考活動の結果を
具体的な形として
表わすこと

言葉で思考する

語彙を豊かに

概念定義

言葉の定義を明確にする

文章による

数値で思考する

数える, 比較,

数値化, 分析